

# ゴールデンウィーク 10 連休(その 1)

## 友が島水道を通過するクルーズ客船

事務局長 池田良穂

今年のゴールデンウィークは 10 連休でしたが、いかがお過ごしになったでしょうか。クルーズの予約には出遅れたので、前半は大阪湾の入口の友が島水道でのシップウォッチング、後半は、現在編集作業が最終盤になりつつある「日本の旅客船(1)高速旅客船」のための写真撮影旅行をすることにしました。

まずは友が島水道のシップウォッチングをご紹介します。4 月 28~29 日には、3 隻のクルーズ客船が水道を北上していきました。

まずは 28 日午前中に NCL の「ノルウェー جان・ジュエル」がやってきました。2005 年にドイツのマイヤー造船所で建造された 9 万総トン型船です。カリブ海の現代クルーズのパイオニアである NCL(ノルウェー・ライン)が新造船建造に後れをとり、ライバルの RCCL と CCL に差をつけられて経営不振となり、スタークルーズ傘下に入って再建に取り組んだ時、その救世主役として建造された船です。その後、NCL は見事に復活してスタークルーズの手を離れて成長を続けています。背景に映るのは淡路島の南に浮かぶ沼島です。



ノルウェー・ジュエル

続いて午後「MSC スプレンドィダ」が北上していきました。すっかり日本の市場にも定着して、定期的に日本発着クルーズを実施しています。欧州の大手船会社 MSC の 14 万総トン型船で、2009 年にフランスの STX 造船所で建造されました。



MSC スプレンドィダ

29日に通過したのがコスタクルーズの「コスタ・ネオロマンティカ」です。1993年建造ですからすでに船齢は25年を超えていますが、大改造をしているので船内はなかなか落ち着いた造りになっています。6万総トン型なので、前船と同じ600mmの望遠レンズで撮影したのですがやや小ぶりの印象です。手前に友が島の南端が、後ろには淡路島の由良の街が見えています。



コスタ・ネオロマンティカ